



組立式ボックスカルバート工事 パチンコ玉でトンネル工事



薄井漁港水産流通基盤（特定）整備工事で、パチンコ玉を用いた県内でも珍しい設置工法があり、7月30日、丸久建設株式会社主催による、見学会が行われました。

この工事では、竹島大橋の直下に、新しい道路を作る過程で、大橋周辺の構造上、大型の重機やクレーンによる作業と現場でのコンクリートを打設する工事が難しいため、あらかじめ工場で製作したボックスカルバート（四角いコンクリートの箱）30組を、パチンコ玉のベアリング効果により横移動させ約23メートルのトンネルの様な構造物を作っています。

25メートルの2本のレインの上には、6万1千個のパチンコ玉が敷き詰められ、ボックスカルバートの移動が始まると見学者からは驚きの声が上がっていました。

見学会に訪れた戸元瑛志さん（川床中2年）は「今回の珍しい工法が学べてうれしい」と話しました。



みんなの食堂「すいせんの花」 みんなで作ってみんなでランチ

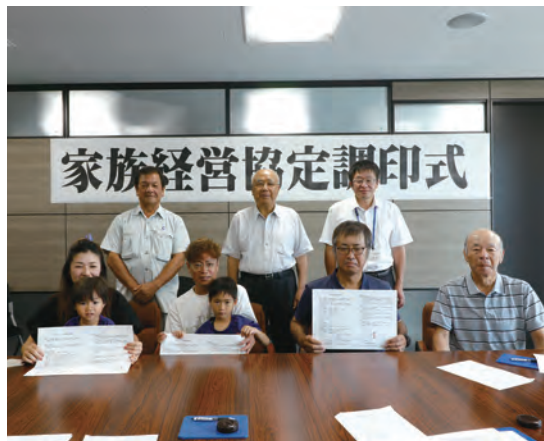


8月2日、茅屋自治公民館で長島町ひとり親寡婦福祉会「すいせんの会」をはじめ、地域ボランティアや民生委員、社会福祉協議会が協力して「みんなの食堂「すいせんの花」」が開催されました。

当日は、地域の高齢者や子どもたちが一緒に団子を作った後、冷やし中華などのランチをみんなで楽しみました。

参加した吉武里桜さん（平尾小4年）は「唐揚げが特においしかった。おにぎりと相性が最高」とみんなで食べる昼食に満足した様子でした。

家族経営協定調印式 力を合わせて地域農業に貢献



8月9日、農業の経営方針や役割分担などを家族間の話し合いに基づき取り決める家族経営協定を、長元大介さん家族（西・写真右）と福浦誠吾さん家族（片側・向左）が締結しました。

長元さんは「繁殖牛経営に新たな技術を導入しながら増頭し、経営を発展させていきたい」福浦さんは「紅甘夏を中心とした経営を行いつつ、新品目を導入し、獅子島の地域農業に貢献したい」と決意表明しました。